

# ダブルディグリープログラム

1) カリフォルニア大デービス校 (全学対応)

現在までの実績

派遣1名 受け入れ無

2) ミラノ大農学部 (農学府のみ 栽培, 食品, 環境)

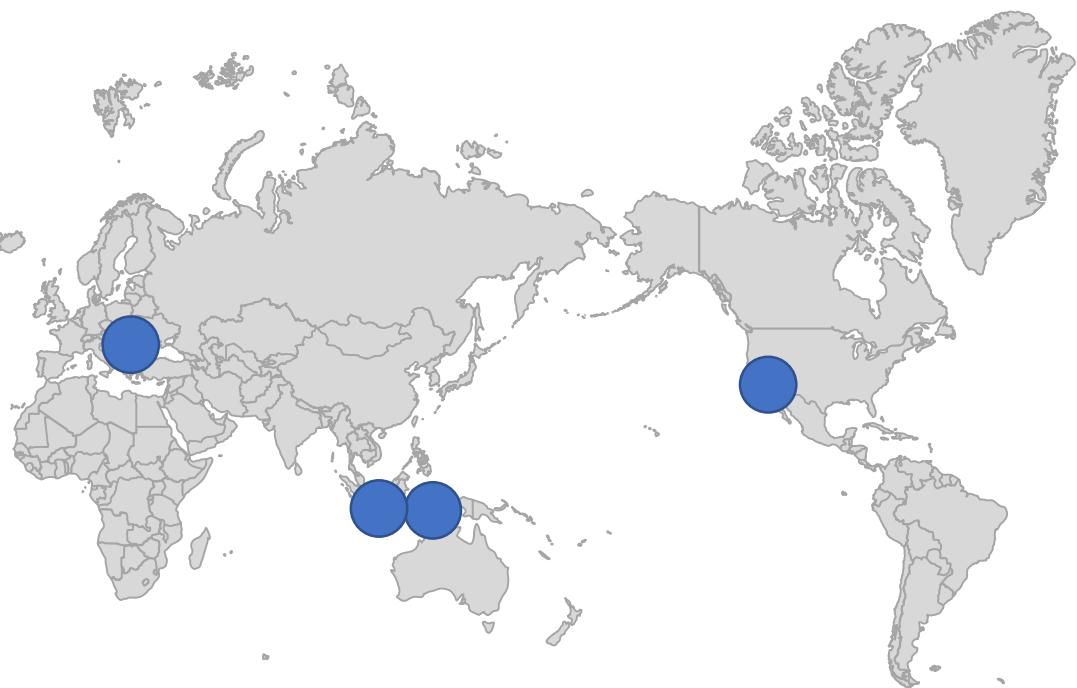
派遣1名 受け入れ4名

3) ガジャマダ大林学部 (農学府のみ 林学系推奨)

派遣3名 受け入れ無

4) IPB自然資源管理学専攻 (農学府のみ 環境農学系推奨)

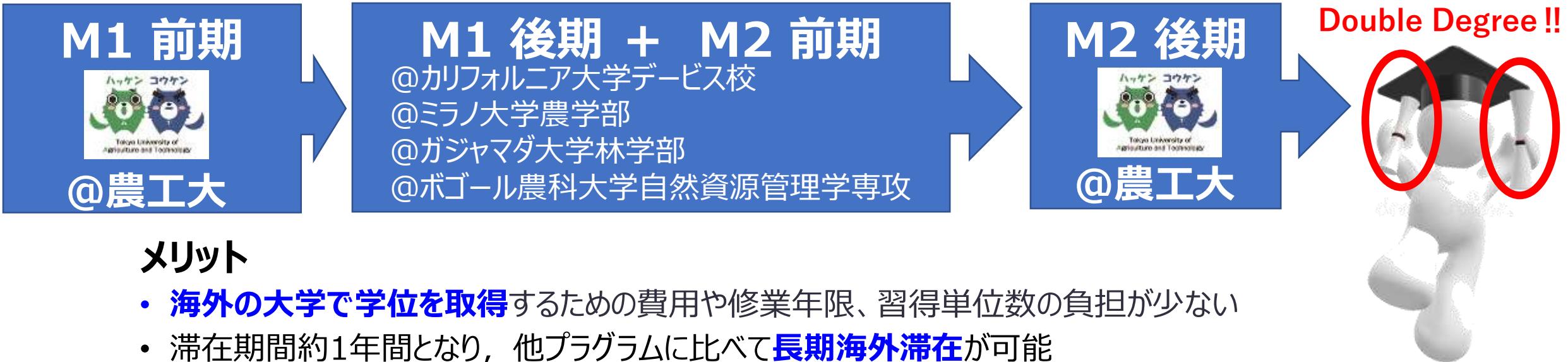
派遣1名 受入1名



## 特徴

- ・上記海外協定校に1年間滞在して研究を行う
- ・本学学費は支払い、海外大学学費は免除
- ・海外滞在にかかる必要経費は自己負担
- ・JASSO奨学金制度
- ・それぞれの大学から学位(修士号)を授与される

# ダブルディグリープログラムの実際



## メリット

- 海外の大学で学位を取得するための費用や修業年限、習得単位数の負担が少ない
- 滞在期間約1年間となり、他プログラムに比べて長期海外滞在が可能
- 海外フィールド（インドネシア・イタリア）現地での実際の実験、研究が可能
- 国際的に活躍する研究者として研究力・調整力を身に着けるよい機会となる
- 国際共同研究の立役者となることができる

## チェックポイント

- 修士課程入学以前に事前の調整が必要（計画的に研究を遂行するため）
- 複数の研究・調整を同時進行で行う必要があるため、通常の修士課程より負荷が大きい